

令和2年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：富山大学

代表学生：金田華実

指導教員：神野賢治 准教授

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>朝日町発祥”ビーチボール”をさらに普及させるには？ (B部門)</p>
<p>研究概要</p>	<p>ビーチボールを当該町振興の重要な資源と捉え、その普及策の検討とともに、青少年における教育的位置づけ（スポーツの多様性を知る教材）と今後の展望について言及する。</p>
<p>これまでの活動状況と今後の活動予定 (300字程度)</p>	<p>現状、①朝日町教育委員会スポーツ課へのヒアリング及び意見交換会、②ビーチボール施策を展開するスポーツ施設の視察・ヒアリング調査、③ビーチボールの特性を知るための実技研究会の3点について、いずれも朝日町において実施済みである（写真掲載）。今後の研究計画は、朝日町内に存在する2つの小学校、1つの中学校・高等学校において、児童・生徒や教員を対象とした「ビーチボールの実施状況と生活調査（仮）」（自記式アンケート調査）を実施し、学校の体育や諸活動におけるビーチボールの活用実態と、生活への浸透、まちづくりとの関連性について分析・考察を行う予定である。</p> <p>なお、本フィールドワーク研究には朝日町教育委員会（スポーツ課）ならびに朝日町地域おこし協力隊（八巻未来氏）の全面的な協力・サポートを得ている。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。</p>	<p>申請時は、例年当該町で実施されているビーチボールの全国大会をはじめとする諸大会の参加学生などを対象とした調査やフィールドワークを実施する予定であったが、年度当初に大会自体の中止が決定した。よって、朝日町在住の青少年に対象や視点を切り替え、各種取り組みを遂行している。</p>

朝日町教育委員会スポーツ課との意見交換会の様子



サンリーナ（朝日町文化体育センター）へのヒアリング調査の様子



ビーチボールの実技研究会の様子

